

評価シート 様式

取組名	ふるさと秩父の創造 四季を彩る おもてなしのまちづくり				
実施団体名	ちちぶ夢創りおもてなし協議会	対象地域	埼玉県秩父市		
(代表団体名)	秩父市	推薦団体名			
① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか		② 実施 体制		
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。			平成20年度に行われた取組の実施体制について	
	(備考・特記事項)			<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。	
				(備考・特記事項)	
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について		④ 継続 展開 の見 込み		
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。			平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて	
	(備考・特記事項)			<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。	
	平成20年の観光入れ込み客数は調査中のため把握できていないが、一部イベントの集客状況から勘案し、目標を上回る見通し。			(備考・特記事項)	

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	ふるさと秩父の創造 四季を彩る おもてなしのまちづくり		
実施団体名	ちちぶ夢創りおもてなし協議会	対象地域	埼玉県秩父市
(代表団体名)	秩父市	推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見 観光振興、地域産業振興、農林漁業振興、環境対策の主に4つの分野にわたる複合的な取組である。 また、インフラ整備と同時に進行することで相乗効果も期待できる。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、観光振興、地域産業振興、農林漁業振興、環境対策の主に4つの分野にわたる複合的な取組であり、魅力的な観光資源を数多く持ちながらそれを活用できていない地域にとってのモデルとなりうるものである。 本年度については、協議会の構成員の主体的な関わりの下に立ち上がり段階における成果が十分挙げられたものと評価できる。平成21年度からは、地方の元気再生事業としてではなく、地域独自の取組により本格展開されることが期待できる。